

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護支援経過(介護計画書をより詳細に記載したもの)として、1回/月のモニタリングはしているものの、介護計画書自体のモニタリングは実質1回/6ヶ月の実施だった。	介護計画書のモニタリングを1回/月実施する。	介護計画書にモニタリングの欄を設け、平成24年1月より1回/月のモニタリングを実施していく。	3ヶ月
2	35	2回/年消防署立ち合いのもと防災訓練を実施しているが、施設独自では訓練・備蓄はしていなかった。	施設独自の防災訓練が出来るよう努める。また、職員に対する防災教育を充実させ、万が一の際の具体的な行動や対策に繋がられるよう努める。また、災害時の為に、日持ちがして調理の必要性が無いもの等の備蓄をする。	非常災害設備の取扱い説明と、緊急時の対応についての教育を定期的実施。また、入居者様個々に合った救助方法を職員と一緒に検討していく。また、ホーム独自で備蓄をする。	12ヶ月
3	6	住宅街に施設があり地域に密着した運営が出来る反面、施設周辺を道路に囲まれ交通量が多く、また、コンビニエンスストアが隣接していることから、常時車の出入りも激しく危険性が高い。安全性を優先とする法人の方針として、ホール出入口の施錠はご家族へ説明させて頂いた上で実施している。	安全性を重視する観点から、施錠は継続していくが、入居者様に閉塞性を感じさせないよう援助していく。	外食会・外出行事の定期的な実施。日常にお散歩やお買い物行事を行うことによって、いつでもホーム外へ出られることを感じて頂き、閉塞性を感じずに生活できるよう援助していく。	12ヶ月
4	40	職員が検食として同じ食事を朝・夕と食べているが、入居者様とは別に休憩室で食べている。	行事や外食会に時間的ゆとりをもって臨むことで、入居者様と一緒に食事する事を楽しむ。	食事中の入居者様の安全確保と、職員の労働衛生環境を配慮することは、法人として重要なことと考えている。行事や外食会で一緒に食事をする際には、よりゆとりをもって臨めるよう努め、一緒に食事を楽しんでいきたい。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。